

基準 8 施設・設備**(1) 観点ごとの分析**

観点 8-1-①： 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備が整備され、適切な安全管理の下に有効に活用されているか。また、施設・設備のバリアフリー化や環境面への配慮がなされているか。

(観点到に係る状況)

本校の主な設備を資料(資料 8-1-①-1~4)に示した。教室・研究室・実験室がある全ての建物、及び、全ての寮建物の耐震補強工事、屋上の手すり取付工事を完了している。教室は合計 20 室あり、いずれも 70m²以上の広い面積を確保している。全教室・教員研究室等には冷暖房設備を設置済みである。また、ほとんどの教室にはプロジェクター及びスクリーンを設置している。

さらに、専攻科や選択科目の授業などにも対応できるよう講義室やゼミ室、合併教室、また、実習工場や各種の実験室も整備しており(資料 8-1-①-5~11)。教室や実験室及び実験設備の稼働率は、概ね有効に活用されている(8-1-①-5, 6)。

「施設配置図」

キャンパス



土地

区分	面積
校舎敷地	51,454㎡
運動場敷地	38,767㎡
寄宿舍敷地	16,008㎡
計	106,229㎡

(出典 2011 高知高専学校要覧 P. 11, 29)

「施設整備の変遷」

年 月	施設の整備状況
昭和 39 年 3 月	校舎（電気工学科棟・工業化学科棟（現，物質工学科棟） 機械工場・寄宿舎（低学年寮西半分）
昭和 40 年 1 月	寄宿舎（低学年寮東半分・高学年寮）
3 月	校舎（一般管理棟（現，総合科学科棟）・機械工学科棟）・体育館
12 月	運動場
昭和 42 年 3 月	校舎（一般教室棟・土木工学科棟（現，建設システム工学科棟） 渡廊下・寄宿舎（低学年寮・女子寮・管理教養棟）・武道場
昭和 43 年 3 月	弓道場
昭和 46 年 3 月	図書館・寄宿舎（低高学年寮低学年部）
昭和 47 年 3 月	LL 教室
昭和 48 年 3 月	風洞実験室
昭和 50 年 3 月	電子計算機室（現，情報処理センター）
昭和 55 年 5 月	第 2 体育館
昭和 56 年 9 月	テニスコート
昭和 57 年 3 月	共通校舎棟（現，管理棟）
昭和 58 年 3 月	福利厚生会館（建依会館）
昭和 60 年 8 月	寄宿舎（5 号館・女子寮）増築
平成 6 年 8 月	プール移設
平成 7 年 3 月	硬式テニスコート
平成 8 年 3 月	黒潮会館・ハンドボールコート・ソフトテニスコート
9 月	物質工学科生物工学棟
平成 12 年 12 月	学科共用棟（現，専攻科棟東）
平成 13 年 3 月	総合科学科棟改修（耐震補強・内外装改修）
平成 14 年 3 月	専攻科棟
9 月	機械工学科・建設システム工学科棟改修（耐震補強・内外装改修）
平成 16 年 3 月	一般科目・機械工学科棟エレベータ新設
平成 18 年 2 月	電気工学科・物質工学科・教室棟改修
3-11 月	総合科学科棟教室・研究室にエアコン設置
10 月	第 1 体育館耐震補強
11 月	実習工場暖房設備設置
平成 19 年 2 月	学生寮 4 号館改修（耐震・内外装全面改修・エアコン設置）
平成 20 年 4 月	機械工場屋根改修 武道場耐震改修
平成 21 年 4 月	学生寮 5 号館改修
平成 22 年 8 月	寄宿舎（女子寮）改修/寄宿舎（3 号館を除く）にエアコンを導入
平成 23 年 8 月	寄宿舎 3 号館にエアコンを導入

（ 出典 2011 高知高専学校要覧 P.15-16）

資料 8-1-①-3

「教育施設内の部屋の整備状況 (1)」

建物名称	部屋名称	内訳				室数	備考
総合科学科棟	教室	88㎡×7室	87㎡×1室	85㎡×1室	84㎡×1室	12	
	合併教室	150㎡×1室				1	
	化学実験室	112㎡×1室				1	
	教員研究室	31㎡×4室	29㎡×5室	21㎡×3室	20㎡×3室	15	
	主事室	75㎡×1室				1	
	学生相談室	30㎡×1室				1	
	保健室	58㎡×1室				1	
	学生情報システム室	29㎡×1室				1	
	物品庫	29㎡×1室				1	
	会議室	29㎡×1室				1	
	セミナー室	27㎡×1室				1	
	会議室	21㎡×1室				1	
	非常勤講師室	21㎡×1室				1	
教室棟	共同利用教室	122㎡×1室	113㎡×1室			2	
	実験室	29㎡×1室				1	
	教員研究室	122㎡×1室	30㎡×1室	29㎡×1室	25㎡×1室	4	
物質工学科棟	教室	77㎡×1室				1	
	実験室	138㎡×1室	127㎡×1室	117㎡×1室	41㎡×3室	14	
		40㎡×3室	29㎡×1室	28㎡×1室	15㎡×1室		
		13㎡×1室	6㎡×1室				
	教員研究室	27㎡×6室	26㎡×2室			8	
	事務室	27㎡×1室				1	
女子更衣室	26㎡×1室				1		
生物工学棟	教室	74㎡×1室				1	
	実験室	43㎡×1室	38㎡×2室	35㎡×1室	23㎡×2室	8	
		11㎡×2室					
教員研究室	28㎡×2室	24㎡×2室			4		
電気情報工学棟	教室	82㎡×2室				2	
	実験室	27㎡×3室	28㎡×1室	29㎡×1室	36㎡×1室	9	
		54㎡×1室	108㎡×1室	115㎡×1室			
	教員研究室	23㎡×1室	26㎡×2室	27㎡×3室	28㎡×5室	12	*:実験室兼用
		52㎡×1室(*)					
	セミナー室	27㎡×1室				1	
	事務室・技術職員室	27㎡×1室	28㎡×1室			2	
暗室	28㎡×1室				1		

(出典 総務課施設係資料)

資料 8 - 1 - ① - 4

「教育施設内の部屋の整備状況 (2)」

建物名称	部屋名称	内訳				室数	備考
環境都市デザイン 工学科棟	教室	85㎡×1室	108㎡×1室			2	
	実験室	29㎡×1室	36㎡×1室	111㎡×1室	117㎡×1室	5	
		145㎡×1室					
	教員研究室	28㎡×7室	29㎡×4室	44㎡×1室(*)		12	*:資料室兼用
	製図室	85㎡×1室				1	
	測量器具室	28㎡×1室				1	
図書室	28㎡×1室				1		
専攻科棟	講義室・教室	54㎡×1室	75㎡×1室	78㎡×1室	79㎡×1室	4	
	ゼミ室	36㎡×1室	39㎡×1室			2	
	実験室	66㎡×1室	67㎡×2室	75㎡×1室	82㎡×1室	5	
	パソコン室	78㎡×1室	82㎡×1室			2	
	パソコン準備室	34㎡×1室				1	
	教員研究室	36㎡×1室	39㎡×1室	40㎡×2室		4	
	学生控え室	40㎡×1室	79㎡×1室	82㎡×1室		3	
デザイン工房	78㎡×1室				1		
実習工場	機械ショップ	387㎡×1室				1	
	溶接・鋳造・熱処理ショップ	29㎡×1室	49㎡×1室			2	
	NC工作室	29㎡×1室				1	
	材料室	29㎡×1室				1	
	事務室	72㎡×1室				1	
風洞実験室	実験室	202㎡×1室	96㎡×1室			2	
	観測・制御室	16㎡×1室				1	
	教員研究室	32㎡×1室				1	
	暗室	12㎡×1室				1	
	電気室	20㎡×1室				1	
図書館	視聴覚室	341㎡×1室	143㎡×1室	41㎡×1室		3	
	視聴覚室	162㎡×1室				1	
	地域連携センター	377㎡×1室				1	

(出典 総務課施設係資料)

資料 8 - 1 - ① - 5

「教室の整備状況と稼働率(平成 23 年度)」

部屋名称	場所	部屋数	部屋面積 (m ²)	収容人数 (人)	利用時間 (時間/週)	稼働率 (%)	備考
教室	総合科学科棟・ 各科専門棟	20	70~88	40	40	100	
総合科学科 演習室	教室棟 3 階	1	122	40	14*	25	*課外活動・補習での 使用を含む
合併教室	総合科学科棟 4 階	1	150	106	30	75	
多目的教室	教室棟 2 階	1	113		8	29	
講義室 1	専攻科棟 4 階	1	79	30	30	75	
講義室 2	専攻科棟 4 階	1	78	30	23	58	
ゼミ室 1	専攻科棟 2 階	1	39	16	15	38	
ゼミ室 2	専攻科棟 2 階	1	36	16	10	25	

(出典 総務課資料, 平成 23 年度前期教室別時間割)

資料 8 - 1 - ① - 6

「実験室の整備状況と稼働率（研究準備室を除く）」

部屋名称	場所	部屋数	部屋面積 (m ²)	収容人数 (人)	利用時間 (時間/週)	稼働率 (%)	備考
化学実験室	総合科学科棟 1 階	1	112	40	10	58	
物理実験室	教室棟 1 階	1	29+122*	40	14	35	*教員室含む
創造科学実験室	専攻科棟 1 階	1	160	40	12	30	
分析実験室	物質工学科棟 3 階	1	127	40	8	20	
材料化学実験室 32	物質工学科棟 3 階	1	40	5	12	30	
材料化学実験室 31	物質工学科棟 3 階	1	40	5	32	80	
有機化学実験室	物質工学科棟 2 階	1	138	40	11	23	
材料化学実験室 22	物質工学科棟 2 階	1	40	5	40	100	
材料化学実験室 21	物質工学科棟 2 階	1	40	5	40	100	
化学工学実験室	物質工学科棟 1 階	1	117	40	6	15	
材料化学実験室 12	物質工学科棟 1 階	1	41	5	26	65	
材料化学実験室 11	物質工学科棟 1 階	1	41	15	40	100	
生物プロセス実験室	生物工学棟 2 階	1	38	16	34	85	
生物化学実験室	生物工学棟 1 階	1	35	12	40	100	
生物工学実験室	生物工学棟 1 階	1	43	16	40	100	
学生実験室	電気工学科棟 3 階	2	27,54	40	24	60	
電子工学実験室	電気工学科棟 3 階	1	115	40	29	73	
ネットワーク実験室	電気工学科棟 2 階	1	36	10	35	78	
学生実験室	電気工学科棟 1 階	2	24	20	24	60	
電気電子工学実験室	電気工学科棟 1 階	1	108	20	29	78	
制御実験室	機械工学科棟 3 階	1	58	12	13	33	
材料実験室	機械工学科棟 1 階	1	80	12	24	60	
流体実験室	機械工学科棟 1 階	1	127	12	14	35	
材料強度実験室	機械工学科棟 1 階	1	26	12	27	68	
水理実験室	建設科棟 1 階	1	111	10	6	15	
環境実験室	建設科棟 1 階	1	36	10	21	53	
建材・コンクリート実験室	建設科棟 1 階	1	117	40	14	35	
実験実習室	建設システム科棟 1 階	1	145	50	12	30	
電気工学科室	専攻科棟 4 階	1	82	15	40	100	
機械電気工学専攻実験室	専攻科棟 3 階	2	67+75	16	40	100	
物質工学専攻実験室	専攻科棟 2 階	1	67	6	40	100	
建設工学専攻実験室	専攻科棟 1 階	1	66	16	14	35	

(出典 平成 23 年度 総務課資料)

資料 8 - 1 - ① - 7

「実習工場の整備状況」

実習工場の整備状況

建物状況 : 昭和 39 年築(2階部分昭和 42 年増築 平成 20 年屋根改修)	
鉄骨造2階建 建物総面積 792 m ²	
実習工場の主な設備	
品名	種類
ボール盤	1. 直立ボール盤(2台)
	2. 卓上ボール盤(3台)
切断機	1. シャーリングマシン (1台)
	2. 帯鋸盤 (1台)
	3. 帯鋸盤コンタマシン(1台)
	4. 卓上帯鋸盤(2台)
フライス盤	1. 横フライス盤(1台)
	2. 立フライス盤(1台)
	3. NC立フライス盤(2台)
	4. 卓上立フライス盤(1台)
	5. 3軸マシニングセンタ
研削盤	1. 平面研削盤(1台)
旋盤	1. 普通旋盤(4台)
	2. CNC旋盤
溶接機	1. 交流アーク溶接機(4台)
	2. TIG溶接機(1台)
溶解炉	1. 坩堝炉(可傾式ピッチコークス専用)(1台)
	2. 真空溶解炉(1台)
	3. 高周波誘導溶解炉(2台)
その他	1. タッピングマシン(1台)
	2. パルス YAG レーザー加工装置(1台)
	3. 可逆転式二段圧延機(1台)
	4. ワイヤ放電加工機(1台)

(出典 平成 23 年度 実習工場資料)

「機械工学科の主要設備」

現有主要設備

機 械 工 学 科

透過型電子顕微鏡(120 KV)



日本電子製
薄膜に電子線を透過させることにより、通常2万～3万倍で、内部組織を観察出来ます。薄膜試料の作製が困難ですが、合金等の新素材の内部構造を詳細に検討することが可能です。超塑性材の圧延方向に垂直な試片の観察などにチャレンジしています。

走査型電子顕微鏡(30 KV)



日本電子製
破壊表面の状態をナノメートルオーダーまで、容易く観察することが出来ます。観察試料の作製が容易で試料表面を直接、凹凸が存在する状態で観察可能なため、破壊状態を現状のまま保存出来ることが特徴です。現在は延性および脆性破面の観察に利用しています。

インストロン型万能試験機



島津製作所製
10トンまでの引張・圧縮強度を測定することが可能です。丸棒から板材まで、チャックを交換することによって計測することが出来ます。現在は純金属や合金等の強度測定や破面状態の観察およびn値・m値の計測に利用しています。

マシニングセンター



森精機・DuraVertical-5060
テーブル作業面900x600、主軸回転速度10,000rpm、具収納本数30本、切削速度1～5,000mm/min、加工精度としてφ90mmの真円度1.76μm以下。フライス加工を中心にCAD・CAMを取り入れた加工が可能です。

YAGレーザー・ロボット加工装置



YAGレーザー加工装置
加工が可能です。レーザーは最大平均出力350 W、最大出力パルスエネルギー70 J/パルス。光ファイバで多関節ロボットに連結し、ロボットの位置決め精度は±0.08 mmです。

大気圧イオン化質量分析装置



ドリフトチューブイオン移動度計と四重極型質量分析計を組み合わせた分析装置で、大気圧中で様々な方法で発生させたイオンの移動度スペクトルおよび質量スペクトルの測定が可能です。質量分析部の測定質量範囲は～1,000amu。

その他の装置リスト

光学顕微鏡
硬度計
電気炉
高周波真空溶解炉
半導体パラメータ・アナライザ
電源付微小電流モニタ
ワイヤボンダー

ガスクロマトグラフ
イオンミリング装置
燃研式断熱熱量計
タービン流速計
圧力・差圧測定装置
蒸着装置
ワイヤカット放電加工機

多点熱電対温度記録計
ストロボスコープ一式
CNC旋盤
NC立てフライス盤
簡易NC立てフライス盤(2台)
立てフライス盤
横フライス盤

「電気工学科の主要設備」

電気情報工学科

サボニウス型風車と太陽電池



サボニウス型風車と発電設備
直径4m, 高さ2m, ブレード3枚,
ステンレス製, 予想出力2kW
(風速15m/s)の風車です。発電
機は, 三相永久磁石型交流発電
機, 32極(希土類磁石), コ
アレス・アウトロータ式
300rpm, DC250V, 4.0A, 1kWと
なっています。
太陽電池パネル
シリコン多結晶, 最大出力
175W×20枚3.5kWです。

原子間力顕微鏡 (AFM)



島津製作所製SPM-9600。試
料表面を微小な探針で走査する
ことによって三次元形状を高倍
率で観察する顕微鏡です。水平
分解能は0.2 nm, 垂直分解能は
0.01 nmです。
形状測定はコンタクトモード,
ノンコンタクトモードに対応し,
試料に合わせて適切な測定を行
えます。また, 局所電流測定
(Conductive-AFM), および表
面電位測定 (KFM) を行うこと

ロボットアーム



三菱電機RV-M1<ムーブマスター
>シリーズの代表機種であり,
最大合成速度1000mm/s, 位置繰
り返し精度±0.3mm, 可搬重
量: 1.2Kgの5自由度垂直多関
節形ロボットアームです。
本ロボットは電機分野での分
解・組立・試験, 機械加工での
小物ハンドリングなどの用途で
幅広く採用されています。

ナノ秒パルスレーザー照射装置



パルス幅がナノ秒のレーザーを
大気中, 希ガス中及び水中で照
射する事が可能です。この装置
を用いて将来役立つ新しい機能
をもった電子材料の開発や低損
傷微細レーザー加工技術の開発
を行っています。
波長: 355 nm, パルス幅: 4
nsec, ビーム径: 5 μm~300 μm
(可変)

電磁ノイズ(EMI)測定装置



電源機器や電子機器の動作時に
発生し, 周辺空間・周辺機器に
悪影響を与える電磁ノイズを,
擬似電源回路網と電界・磁界プ
ローブで測定します。取得した
測定データはスペクトラムアナ
ライザなどで分析します。

(測定例)
伝導性電磁ノイズ測定
放射電磁ノイズ測定

パワーメータ・オシロスコープ



(上) デジタルオシロス
コープ(アジレントテクノロジー
Infiniium 54800)です。600MHz,
4ch, ロングメモリー, カラー
ディスプレイ, 波形演算, FFT
ほか多彩な機能が付いています。
(下) デジタルパワーメータ
(横河 WT1600)です。仕様は,
入力電流: 50A 電圧: 1.5~
1000V, 周波数レンジ: DC~

その他の装置リスト

光スペクトラムアナライザ
カーブトレーサ
超高真空スパッタ蒸着装置
ガウスメータ
スペクトラムアナライザ
ネットワークアナライザ

回路基板加工機
ロジックアナライザ
ファンクションジェネレータ
直流安定化電源
模擬送電線装置
各種電動機・発電機

単相デジタルパワーメータ
三相デジタルパワーメータ
容量計
回転計
絶縁抵抗計
光学顕微鏡

「物質工学科の主要設備」

物質工学科

核磁気共鳴吸収装置 (NMR)



^1H や ^{13}C などの磁気モーメントを有する原子核が核磁気共鳴を起こし、その電磁エネルギーの吸収を観測することにより有機化合物の構造解析を行う装置です。芳香環やカルボニルなどの水素および炭素種に関する情報が入手でき、また特定の吸収帯により定量分析を行うことが可能です。

多目的X線回折装置 (XRD)



X線 ($\text{CuK}\alpha$; 管電圧40kV, 管電流40mA) を固体試料に照射し、その回折X線の角度や強度から試料の結晶構造を評価する装置です。通常の粉末測定に加え、薄膜測定や高温測定も可能な付属機器を備えています。また、より汎用性に優れた小型X線回折装置 (管電圧30kV, 管電流15mA) も設置しています。

熱分析システム



熱重量測定・示差熱分析 (TG/DTA) および示差走査熱量測定 (DSC) ができる熱分析装置です。仕様温度範囲は、TG/DTAが室温 \sim 1300 $^{\circ}\text{C}$ (max1500 $^{\circ}\text{C}$)、DSCが室温 \sim 500 $^{\circ}\text{C}$ (max750 $^{\circ}\text{C}$) です。このように、広温度範囲でセラミックス、ガラス、高分子材料などの熱的变化を調べることが可能であり、付属の熱分析システムよりデータの収集・保存・解析などの処理ができます。

バイオリクター



本装置は、攪拌槽型バイオリクターと呼ばれ、攪拌速度、温度、pH、容存酸素濃度の制御が可能です。主にエタノール発酵、乳酸発酵、メタン発酵などの微生物培養の研究に利用しています。

無菌操作システム



無菌操作室の換気はHEPAフィルターを通して行っています。無菌操作室には微生物や植物細胞、動物細胞を無菌的に操作するクリーンベンチ：2台を設置しています。また、この部屋には微生物や植物細胞、動物細胞を恒温で培養する恒温器(2台)、低温インキュベーター(1台)、 CO_2 インキュベーター(1台)を設置しています。

遺伝子解析装置



遺伝子 (DNA) は生物の遺伝情報の殆ど全てを担う分子であり、基本的には塩基配列の形で符号化されているため、その解析が必要です。本校では、その解析装置、ABI 310 Genetic Analyzerを所有しており、400塩基対を1時間で決定できる処理能力を有しています。

その他の装置リスト

ガスクロマトグラフ
フーリエ変換赤外分光光度計
蛍光光度計
屈折率測定装置
マッフル炉
BET比表面積測定装置

電位差測定装置
真空乾燥器
加圧重合装置
紫外可視分光光度計
プレス装置
カールフィッシャー水分計

電気導電率計
偏光顕微鏡
ホモジナイザー
エバポレーター
フラクションコレクター
グローブボックス

(出典 産学技術交流の歩み 第4号 2010 P.8)

「建設システム工学科の主要設備」

環境都市デザイン工学科

低応力高精度型一面せん断試験機



本試験装置は、砂の液状化試験のための装置である。液状化強度の低応力状態を再現するためには、高精度型でなければならない。定体積条件で実験でき、試料の乱れの影響も小さい装置である。

遠心力模型実験装置



遠心力荷重装置は、地盤工学において $1/n$ の模型を ng (g : 重力加速度) の遠心力場に置き応力やひずみの相似則を満足させて実験を行う装置で、公称回転半径 1.55 m、最大加速度 200g、最大容量 12g・ton である。

構造物疲労試験システム



建設材料や各種構造物の引張・圧縮試験、曲げ試験、繰り返し荷重実験や動的疲労試験などに使用し、静的 200kN/動的 250kN まで、周波数 0.005Hz~100Hz、正弦波・三角波・ランプ波等に対応する。

コンクリート複合劣化試験機



コンクリートの代表的な耐久性試験である、アルカリ骨材反応、塩水噴霧、中性化、凍結融解、乾燥収縮、乾湿繰り返しなどの試験を総合的に実施、計測することができるシステムである。

イオンクロマトグラフ



水中の硝酸、亜硝酸、硫酸等のイオン濃度を分析する装置である。下・排水の処理性能や河川などの水環境の評価に使用している。

ガスクロマトグラフ



気体中の CO_2 , H_2 , N_2 , CH_4 のガス成分や、水中の各種有機酸を分析する装置である。下・排水の処理性能や河川などの水環境の評価に使用している。

その他の装置リスト

多用途型三軸圧縮試験機
高容量一軸圧縮試験機
万能圧縮試験機
地震観測システム
GPS測量システム
トータルステーション (測量)

地理情報システム (GIS)
ArcView
落射蛍光顕微鏡
BOD分析計
N・P分析計
下排水処理装置

圧密試験機
レーザー距離計
GPSカメラ
自動圧縮試験機

(出典 産学技術交流の歩み 第4号 2010 P.9)

情報処理教育のために、情報処理センターと2室のパソコン室を整備している（資料8-1-①-12）。語学学習のためにLL教室を設置していたが、平成23年度に廃止した。これは教育GPプロジェクトにより、全学生に携帯情報端末を貸与し、会話練習や録音による発音チェック等の語学学習が教室を問わずできるようになったためである。

資料8-1-①-12

「情報処理学習のための施設」

建物名称	部屋名称	授業使用時間 (時間/週)	パソコン 台数	現パソコン 整備年度	開館時間
専攻科棟	パソコン室(1)	25	53	平成20年度	8:30-17:50
専攻科棟	パソコン室(2)	21	53	平成20年度	8:30-17:50
情報処理センター	演習室	27	49	平成20年度	8:30-18:00
	小演習室	27	11	平成20年度	8:30-18:00
	その他の設備：WS2台，プリンター3台，プロジェクター1式				

(出典 情報処理センター資料)

図書館には112席の開架閲覧室をはじめ、地域連携センターがあり、図書利用以外にも多目的に使用している（資料8-1-①-13）。

運動施設は、運動場や体育館、プール、球技コート、武道場などを整備し、主に体育の授業や課外活動などで利用されていることに加え、隣接する物部川の河川敷の一部を借り上げて整備し、野球練習場として使用されている。

資料8-1-①-13

「図書館概要」

建物状況	昭和41年築 建築面積 861m ²	鉄筋コンクリート造 建物面積計 1645m ²	2階建 館内空調あり
主な部屋	開架閲覧室 341m ² 視聴覚室 162m ²	南閲覧室 143m ² 地域連携センター 377m ²	教員閲覧室 41m ²
閲覧席数	112席		
設置パソコン数	蔵書検索専用1台 多目的使用6台		
視聴覚機材	テレビ 1台 ビデオ/DVDプレーヤ 1台（2名同時使用可能）		
開館時間	平日 8:30-19:00 土曜日 9:00-13:00		

(出典 施設図面，平成23年度高知高専要覧)

学生寮は、本校の教育施設の一部であり、集団生活を通じて人間形成を助長し、教育目的の達成に資することを目的として設置運用しており、平成24年4月現在全校学生の約55%の451名が入寮している（資料8-1-①-14）。

資料 8 - 1 - ① - 14

「平成 24 年度 寮生数」

寮 生 数

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

学科・学年別寮生数

学 年		機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	物 質 工 学 科	環 境 都 市 デ ザ イ ン 工 学 科	合 計
第 1 学 年	男 子	34	32	25	23	114
	女 子	0	2	12	11	25
	合 計	34	34	37	34	139
第 2 学 年	男 子	24	25	19	24	92
	女 子	3	6	8	5	22
	計	27	31	27	29	114
第 3 学 年	男 子	26	19	10	6	61
	女 子	0	3	10	4	17
	留 学 生	0	1	0	0	1
	計	26	23	20	10	79
第 4 学 年	男 子	18	18	18	11	65
	女 子	0	2	1	3	6
	留 学 生	1	0	0	0	1
	計	19	20	19	14	72
		機 械 工 学 科	電 気 工 学 科	物 質 工 学 科	建 設 シ ス テ ム 工 学 科	
第 5 学 年	男 子	9	15	7	7	38
	女 子	0	1	3	2	6
	留 学 生	0	0	1	0	1
	計	9	16	11	9	45
専 攻 科	計	0	1	1	0	2
合 計	男 子	111	109	79	71	370
	女 子	3	14	34	25	77
	留 学 生	1	1	1	0	3
	専 攻 科	0	1	1	0	2
	合 計	115	125	115	96	451

館別寮生数

	定 員	男 子 1 学 年	男 子 2 学 年	男 子 高 学 年	女 子 学 生	合 計
1 号 館	67	48		9		57
2 号 館	60	66		5		71
3 号 館	129		92	8		100
4 号 館	104			99		99
5 号 館	88			47	36	83
6 号 館	42				40	40
留 学 生 寮	—				1	1
合 計	490	114	92	168	77	451

(出典 平成 24 年度寮生のしおり)

また、校外への学生の移動手段として、46人乗りのスクールバスも整備している。学内共通使用の施設や設備は、学内LAN上でのウェブグループウェアを使って、学内のどこからでも使用予約やその予約状況の確認ができ、施設設備の利用効率を向上させているのに加え、学校施設の有効活用に関する規則を制定し、校舎等教育研究施設の有効活用を図っている（資料8-1-①-15）。

資料8-1-①-15

「施設の有効利用に関する規則」

高知工業高等専門学校施設の有効活用に関する規則

制定 平成17年 1月12日

最終改正 平成16年 4月22日

(目的)

第1条 この規則は、高知工業高等専門学校（以下「本校」という。）における校舎等教育研究施設の有効活用を図り、時代の変化や社会的要請に対し柔軟に対応した新たな教育研究活動の推進を図ることを目的とする。

(調査)

第2条 第1条の目的を推進するためエゾン・企画委員会（以下「委員会」という）において、教育研究施設の利用状況実態調査（以下「実態調査」という。）を随時行い、教育研究等の内容に応じた使用方法等の見直しを行い、適宜施設の再配分を図るものとする。

以下 省略

(出典 高知高専規則集)

建物のバリアフリー化については、学生寮を含むほとんどの建物でスロープを設置済みである。また、専攻科棟・総合科学科棟・機械工学科棟・図書館についてはエレベーターまたは車椅子補助階段が設置されており、車椅子使用者でも全ての階にアクセス可能である（資料8-1-①-16, 17）。学生寮では車椅子等での生活を考慮した棟を決め、1階での生活（スロープ・トレイ等）についてバリアフリーを完了している。女子寮には車椅子対応の浴室を設置済みである。

「主な教育・福祉施設のバリアフリー化状況」

建物				備
	物 工			生物工 用
	物 工 生物工			実
	工			
	工			
	環 工			
	理			
	理			
	建			
	工場			建
				の 備 用
				の 備 用
				の 備 用
				の 備 用

注：建物 No は資料 8 - 1 - ① - 1 「キャンパス内建物配置図」中の番号

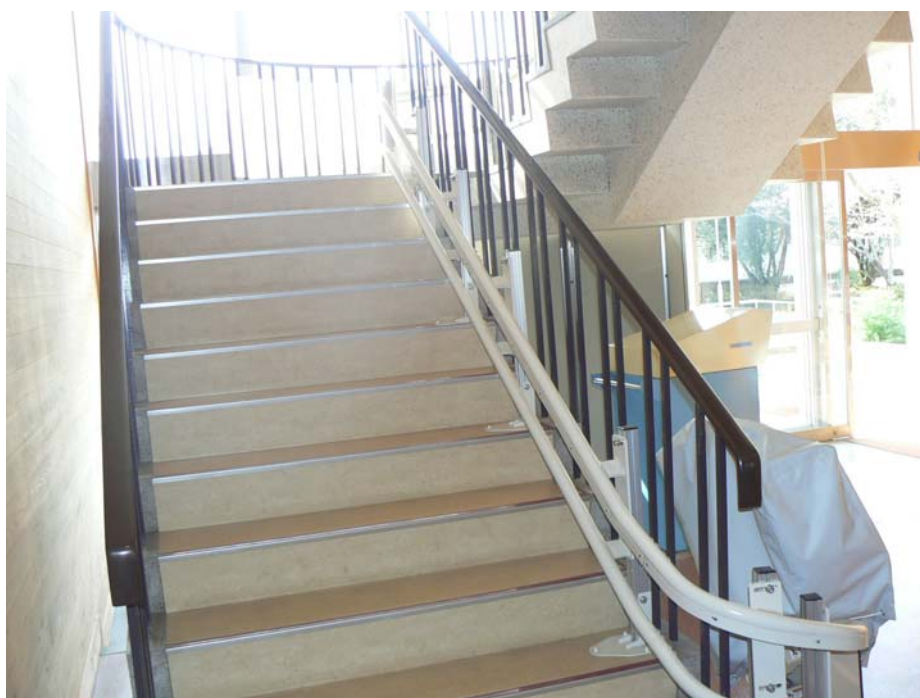
(出典 総務課施設係資料より作成)

「校内のバリアフリー施設例」

(1) ①総合科学科棟 スロープ・エレベータ



(2) ⑩図書館 車椅子等階段昇降補助装置



(出典 学内調査により作成)

使用電力の低減のため、総合科学棟棟屋上に定格 40KW の太陽光発電設備を設置している。平成 23 年の年間発電実績は 69,781.1kWh であった。また、学校全体の環境負荷低減のため、環境マネジメント委員会を設けており（資料 8-1-①-18）、エネルギー使用量・紙などの消耗品の使用量・廃棄物処理や化学薬品の適切な管理について毎年検討を行っている（資料 8-1-①-19）。

設備の安全な運営のため、安全衛生委員会を組織している（資料 8-1-①-20）。当委員会では津波対策など全体的な安全方針の決定に加えて、適宜校内巡視を行い（資料 8-1-①-21）、安全性の向上に務めている。

（分析結果とその根拠理由）

教育に必要な施設・設備は整備され、各部屋等の稼働率も良好である。

教室は十分な広さを有し、また体育館や運動場などの運動施設も整備されているほか、講義室や実験・実習施設・情報処理施設及び実践教育用の種々の機器や装置類も適切に整備され、それぞれ有効に活用されている。

バリアフリー化については、学内の多くの建物で実現しているが、今後は一部未対応の建物でのスロープ・エレベータ等の設置が課題である。

環境についても環境マネジメント委員会を設けて全学的取り組みを行っていることに加え、太陽光発電設備により、自然エネルギーを活かした発電を実施している。

資料 8-1-①-18

「環境マネジメント委員会規則」

高知工業高等専門学校環境マネジメント委員会規則

制定 平成 18 年 4 月 4 日

（設置）

第 1 条 高知工業高等専門学校環境マネジメント室規則（平成 18 年 4 月 4 日制定）第 4 条の規定に基づき、高知工業高等専門学校環境マネジメント委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（審議事項）

第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- （1）環境方針に関する事
- （2）環境目的・目標に関する事
- （3）環境マネジメントシステム運用に関する事
- （4）環境報告書に関する事
- （5）環境保全に係る各調査に関する事
- （6）その他環境に関する事

（組織）

第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

（以下 省略）

（出典 環境マネジメント委員会資料）

資料 8 - 1 - ① - 19

「エアコンの使用に関する通達例」

総合科学科棟教室での夏季エアコン使用について（お願い）

環境マネジメント委員会から『冷暖房等節電対策の実施について』が先日発表され、今月 16 日の運営会議にて了承されました。これを受け、総合科学科棟教室（合併教室含む）でのエアコン使用に関し、環境マネジメント室長・副室長及び 1・2・3 年の学年主任と協議した結果、7 月 1 日以降は次のように対応することとなりました。

冷房期間は 7 月 1 日～9 月 20 日となっているので、この期間は基本的にエアコンを使用する。総合科学科棟教室のエアコンは、ホーム教室、合併教室はすべてリモコン操作で稼働している。使用方法は次のとおりとする。

1. 専門学科の先生方の対応

(1) 3 年生の各ホーム教室では、朝のホームルーム（8：30～）直前に学級担任あるいは副担任が総合科学科棟 1 階学生課教務係の対面のカウンターに設置しているエアコンのリモコン（学科別）を持ち出し、電源を入れる。ホームルーム終了後リモコンを教務係の元の所定場所に必ず戻す。ただし、比較的涼しく感じられる場合は、ホームルーム時は通電せずしばらく様子を見る。この判断は学級担任に任せ、その後電源を入れるか否かは授業担当教員の判断に委ねる。授業担当教員が電源を入れる場合は、学級担任同様、教務係の所定場所からリモコンを持ち出し行う。授業終了後にリモコンを所定場所に必ず戻す。

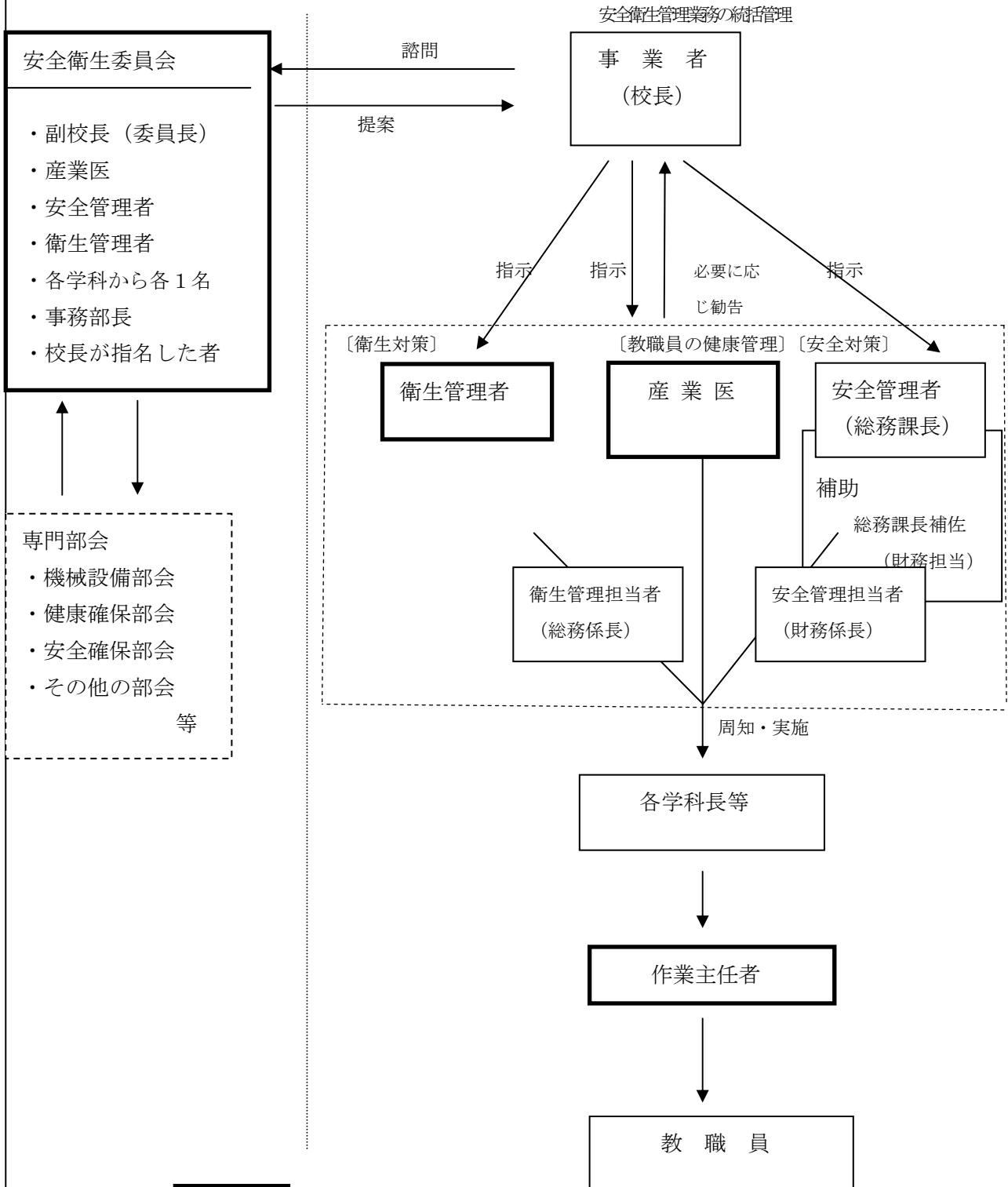
(以下 省略)

(出典 平成 23 年度 総合科学科学科会議資料)

資料 8 - 1 - ① - 20

「安全衛生管理体制組織図」

高知工業高等専門学校安全衛生管理体制組織図



は法定管理者等

(出典 高知高専規則集 高知工業高等専門学校安全衛生委員会規則)

「安全衛生委員会職場巡視報告書」

生 場

様式1

職場巡視報告書

① 日 時	平成24年4月25日(水) 13時40分～ 14時40分	②天気	晴れ
③ 実施場所	物質工学科棟、生物工学科棟		
④ 実施者	産 業 医	■■■■■	印
	衛 生 管 理 者	■■■■■	印
⑤ 部署の立会者	秦教員・勇委員長・高野教員・総務課長補佐(総務担当)・総務係長		
⑥ 観察事項	・安全衛生委員会出席(詳細は別途議事概要)		
⑦ 指摘事項	<p>生物工学科棟【生物学実験室】</p> <p>(1)  (2)  (3) </p> <p>(1)(2)(3)についてですが、壁、土台ともに固定されていません。機械自体の高さはありませんが、台の上にあるので地震が起きた場合、転倒すると危険です。固定するよう検討してください。</p> <p>生物工学科棟【生物化学実験室】</p> <p>(4)  (5) </p> <p>(4)については、壁に固定するよう検討して下さい。 (5)についてですが、瓶の落下防止のバーの取り付け口がもう1箇所あるので、追加するとより安全です。検討して下さい。</p> <p>生物工学科棟【生物プロセス実験室】</p> <p>(6)  (7)  (8) </p> <p>(6)についてですが、プラスチックボトルは落下しても大丈夫ですが、ガラス瓶は割れると非常に危険です。落下しないよう、工夫をお願いします。 (7)生物化学実験室の(5)と同様の対応を検討して下さい。 (8)(9)についてですが、機器の足の部分に土台と固定できるような穴がありますので、土台と固定をして転倒しないよう改善をしてください。</p> <p>(9) </p>		

(出典 平成 24 年度 安全衛生委員会資料)

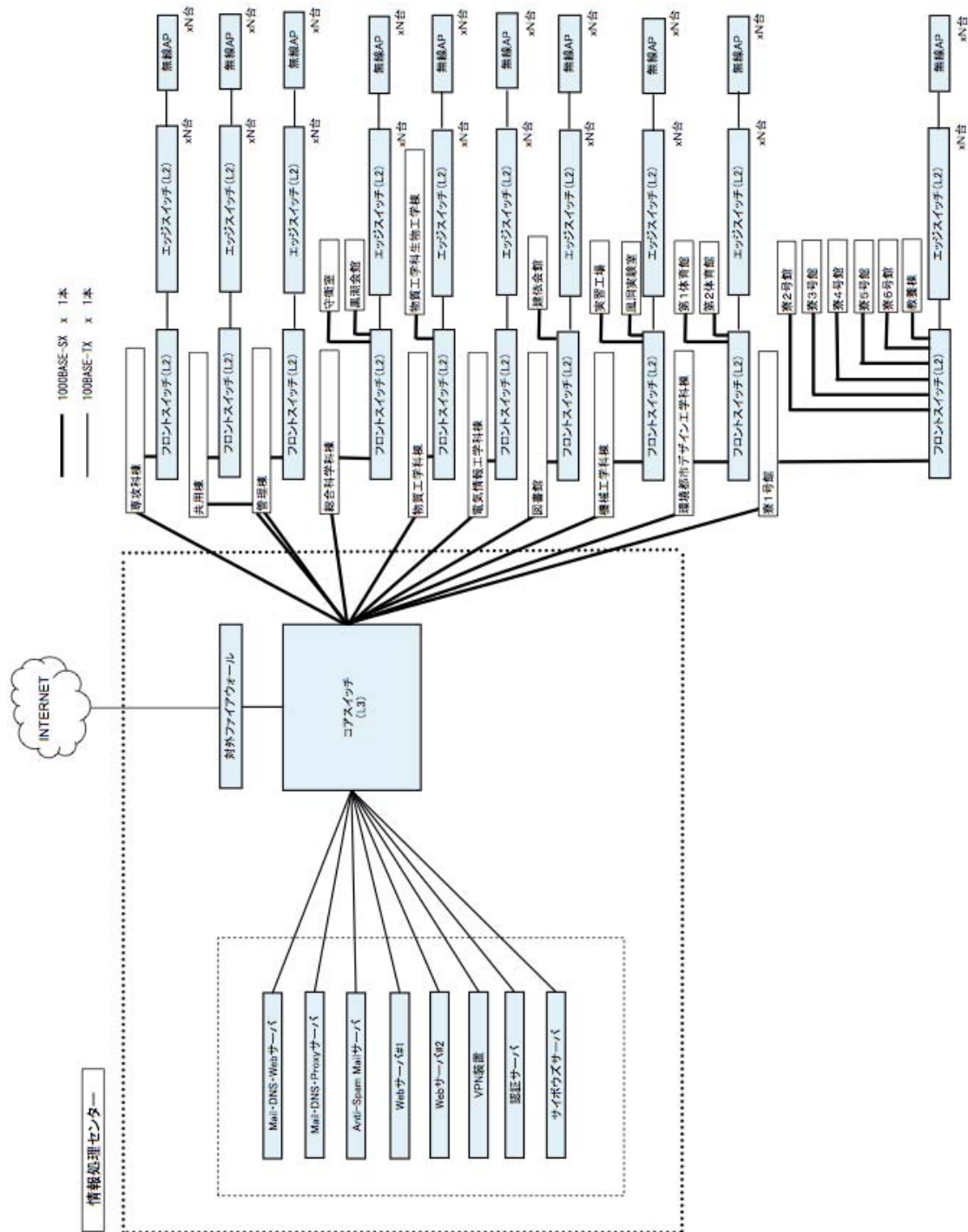
観点 8-1-②： 教育内容、方法や学生のニーズを満たす ICT 環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。

(観点に係る状況)

学内では高速のギガビットネットワークが敷設され、学外とは 100Mbps で高知県新情報ハイウェイに接続し、SuperCSI (学術ネット) と高速接続 (20Mbps) している。同時に無線 LAN アクセスポイントも 154 台設置され、グラウンドや体育館の一部を除く学内ほとんどの場所でのネットワークの接続が可能となるよう整備している。このネット網に約 50 台のサーバや研究・教育用パソコン端末が接続されている。(資料 8-1-②-1)。さらに、学生自身がノートパソコンを準備し、無線 LAN 接続の登録を行うことで、学生寮を含む学内施設のどこからでも、自由にネットワークを利用することもできる。さらに、この無線 LAN 網を活用し、文部科学省・平成 21 年度教育 GP「自己成長力を加速する次世代 ICT 活用教育」により、携帯情報端末を全学生 (905 台) に貸与されている (資料 8-1-②-2)。これにより、随時電子メールの確認や、e-learnig 教材の実行も自由に行うことができる。教材配布アプリ、英語学習アプリ等は学内で開発されており、無線 LAN 環境のないオフラインの状態でも閲覧できることから、大変利便性が高い (資料 8-1-②-3)。また、学生用のネット掲示板や教職員用のウェブグループウェアを使って学内情報を共有するシステムも構築しており、日常的に利用されている。

資料 8 - 1 - ② - 1

「学内 LAN システム概要」



(出典 情報処理センター運営委員会資料)

資料 8 - 1 - ② - 2

「教育 GP の紹介」

高知工業高等専門学校
Kochi National College of Technology

高知高専トップ | 検索 | ヘルプ

スーパーICT高専教育プロジェクト

ユーザ名
パスワード
ログイン
パスワード紛失

▼ トップページ
お知らせ
言語の選択: Japanese

大学教育推進プログラム

- 文部科学省
- 日本学術振興会
- 選定取組一覧 (高専)

携帯情報端末(iPod touch)用の教育用ドキュメントローダ (Handout)のソフトを無償公開しました!
【こちらからダウンロード】

Handout
Powered by Kocis-ct

あなたは 国目国目 人目です。

Information お知らせ

- 3月2日(金)に「モバイル端末による次世代ICT活用教育フォーラム(3/2)」が高知高専で開催されます。要項(forum2012.pdf)をご覧ください多数のご参加をお待ちしております。
- 2010/03/31 文部科学省・平成21年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラムで採択されました高知高専のプロジェクト「自己成長力を加速する次世代ICT活用教育」のHPを開設しました。

【教員対象講習会の様子】全教員が携帯情報端末(iPod touch)を使えるようになりました。

(出典 高知高専ウェブサイト)

資料 8 - 1 - ② - 3

「電子教材配布アプリ Handout」

Handout 更新

Handout
Powered by Kocis-ct

文書閲覧先URL
<http://www.enos.co.jp/handout/>

戻る 分類

- iPod touch 関係資料 >
- 学生便覧・行事予定・時間割 >
- 学生寮 (切正寮) 関係資料 >
- シラバス・一般科目 >
- シラバス・特別科目 >
- シラバス・機械工学科 >
- シラバス・電気情報工学科 >
- シラバス・物質工学科 >
- シラバス・環境都市デザイン工学科 >

(出典 アップルストア iPhone 用アプリ “Handout”)

情報処理教育は、主に情報処理センターの演習室とパソコン室（専攻科棟）で行われている。授業内外で学生が利用可能なパソコンは、センターとパソコン室で合計 166 台を準備しており（前述資料 8-1-①-12）、授業や実験、卒業研究などのほか、各種公開講座や講習会、研修、学生の課外活動などに幅広く利用されている（資料 8-1-②-4～6）。

資料 8-1-②-4

「情報処理センターおよびパソコン室 1, 2 利用の手引き」

情報処理センターおよびパソコン室 1, 2 利用の手引き (案)

高知工業高等専門学校 情報化推進室 平成 17 年 5 月 26 日改訂

この規定は、情報処理センター（以下、「センター」という）及び専攻科棟 2F パソコン室 1・2（以下、「パソコン室」という）の利用に関するものである。

1. 利用時間帯および優先順位

1.1 利用時間帯

┌(a) 8 時 40 分から 12 時 30 分まで

月曜日から金曜日まで ─┘(b) 12 時 30 分から 13 時 20 分まで (昼休み)

└(c) 13 時 20 分から 18 時 00 分まで

(d) 土曜日 担当教官の指導のもとで行う

これ以外の時間帯での使用は、部屋の施錠を行う教官が決まっている場合のみとする。

1.2 利用の優先順位

次の順位で利用が優先される。

- (1) 授業（情報処理等の科目で常時利用する場合）
- (2) 授業（演習等で臨時に利用手続きが出来ている場合）
- (3) 卒研，実験等（指導教官の許可を得て一定期間の使用手続きが出来ている場合）
- (4) 一般学生（自由に使用できる時間帯は、上記の(a),(b),(c)とする）

以下 省略

(出典 情報化推進室資料)

資料 8 - 1 - ② - 5

「情報処理センター及びパソコン室の時間割」

平成24年度前期情報処理センター時間割

	1	2	3	4	5	6	7	8
月	E4 情報通信ネットワークII		E4 創造性教育セミナー		Z5 土木・建築実験			
火			E3 情通ネI	E5 卒研				
水					E2 プログラI [西内]			
木	専攻全I 応用情報処理							
金			M3 工作実習II [宮田]					
金			E5 創造工学実験		E5 卒研			

平成24年度パソコン室1時間割

	1	2	3	4	5	6	7	8
月			M4 工学実験I					
火		E5 ディジ 信号	Z2 土木建築設計製図I			Z3 土木・建築設計製図II		
水	C5 工業統計学・演習				C1 情報基礎 [大角]			
木	Z5 プログラII [勇]		E3 プログラII [西内]					
金	M1 情報基礎 [北村]		C2 CAD演習 [三嶋]					

平成24年度パソコン室2時間割

	1	2	3	4	5	6	7	8
月			C4 プログラII [中島]		M4 工学実験I			
火			C3 英語表現			M3 英語表現	E3 英語表現	
水	M5 計算機演習 [北村]				Z1 情報基礎 [村本]			
木					C3 プログラI [大角]			
金	E1 情報基礎 [佐藤]		M3 プログラII [宮田]		Z3 英語表現			

(出典 平成24年度前期授業時間割より抜粋)

資料 8-1-②-6

「情報処理センター、パソコン室を利用した公開講座等」

平成 22 年度 公開講座・講習会等

	日付	時間・場所	講座名	講師	参加人数
1	H22.6.12(土)	14:00~17:00 情報処理センター	公開講座 「市民対象情報スキルアップ講座」	栗田、今井	22
2	H22.7.1(木)	15:20~17:00 パソコン室2	教員対象携帯情報端末講習会	今井、村本、 David	15
3	H22.7.9(金)	15:20~17:00 パソコン室2	教員対象携帯情報端末講習会	今井、David	15
4	H22.7.22(木)	15:20~17:00 視聴覚室	教員対象携帯情報端末講習会	今井、成行	12
5	H22.7.28(金)	9:00~16:00 情報処理センター	公開講座 「高知県情報教育スキルアップ講座」 対象：高知県小・中・高校教員	栗田、今井、 成行	16
6	H22.9.8(水)	13:00~15:00 情報処理センター	体験学習 「無線LANロボットAIBO君とネットワークを探検！」 対象：中学3年生	今井	19
7	H22.9.8(水)	13:00~15:00 パソコン室1	体験学習 「コンピュータでアニメーションを作ろう」 対象：中学3年生	堀	13
8	H22.9.8(水)	13:00~15:00 パソコン室2	体験学習 「コンピュータでマイホームデザイン」 対象：中学3年生	村本	10
9	H22.12.4(土)	14:00~17:00 情報処理センター	公開講座 「市民対象の情報スキルアップ講座」	栗田、今井	33

(出典 情報処理センター広報 15 号(2011))

情報ネットワークの管理、セキュリティ対策などは、情報処理センター運営委員会及び、情報処理センター技術職員、各学科の管理者で管理運営を行っている(資料8-1-②-7~9)。

セキュリティに関しては、学内と学外の接続部にファイアーウォールや有害サイト等へのアクセスを制限した proxy サーバを設置して不正アクセス等を防止している(資料8-1-②-1)。電子メールの送受信では、アンチウイルスゲートウェイサーバーの設置によるウイルスメール対策を行い、さらにスクールライセンスでアンチウイルスサーバーを設置し、全教職員と学生にアンチウイルスソフトを提供するとともに自動更新サービスを行っている。また、情報セキュリティポリシーを制定している(資料8-1-②-10)。さらに毎年度当初には、全学生対象にネチケット教育を実施し、健全なネット運営を図っている(資料8-1-②-11)。

資料 8-1-②-7

「情報処理センター運営委員会規則」

高知工業高等専門学校情報処理センター運営委員会規則

制 定 平成 19 年 3 月 30 日

(趣旨)

第 1 条 この規則は、高知工業高等専門学校情報処理センター規則第 7 条第 2 項の規定に基づき、高知工業高等専門学校情報処理センター運営委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議するものとする。

- (1) 高知工業高等専門学校情報処理センター（以下「センター」という。）の年間計画及び予算に関すること。
- (2) 学内 LAN の総括的運用及び管理に関すること。
- (3) パソコン等機器の保守管理に関すること。
- (4) 情報処理システムの導入及び開発に関すること。
- (5) 情報機器等の選定に関すること。
- (6) 情報処理センター及びパソコン室の管理運営に関すること。
- (7) その他センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(以下 省略)

(出典 高知高専規則集)

資料 8-1-②-8

「情報セキュリティ委員会規則」

高知工業高等専門学校情報セキュリティ委員会規則

制 定 平成 15 年 3 月 6 日

(設置)

第 1 条 高知工業高等専門学校に、情報セキュリティを確保するために必要な対策を実施するため、高知工業高等専門学校情報セキュリティ委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 情報セキュリティポリシー(情報セキュリティの確保に関する方針及び対策をいう。以下同じ。)の策定及び改訂に関すること。
 - (2) 情報セキュリティポリシーの遵守状況の調査、及びその評価に関すること。
 - (3) 情報セキュリティに関する教育及び啓蒙に関すること。
 - (4) その他情報セキュリティの確保に関すること。
- 2 委員会は、教職員及び学生の情報セキュリティポリシー違反行為が判明した場合は、その違反内容の危険度について調査する。

(以下 省略)

(出典 高知高専規則集)

「情報化の手引き」

高知高専・情報化の手引き

情報処理センター 平成23年4月7日版 000348

1. メーリングリストのall-usersやall-kyoin等の利用について

多くの教職員にメールする場合は、下記のメーリングリスト(ML)をご使用下さい。(サイボウズ・メールの宛先アドレスの選択でのall-users等は、多数のメールアドレスが付加されますので使わないようにお願いします。)

全教職員： [REDACTED]

全教員： [REDACTED]

全事務系職員： [REDACTED]

なお、サイボウズのメールでは、all-users,all-kyoin,all-jimuの宛先のみで、送ることが可能です。(MLでは、添付ファイルは送れません)

【注】多くの人にメールが届きますので、重要なメールは、自分宛に送って内容を確認してから、上記の多数の人に送るメールアドレスを使うことも一つの方法ですので、ご参考にして下さい。

2. 教職員インフォメーションボードの利用について

教職員インフォメーションボード「教職員インフォ」は、学内の情報を共有するための入り口となりますので、教職員のWebブラウザ (Internet Explorer やFirefox等)を立ちあげた時の最初のページは、「教職員インフォ」 [REDACTED] になるような設定にして頂くようお願いいたします。

3. 高知高専の学内LANにパソコンを接続する場合

学内LANにパソコンを接続する場合は、「教職員インフォ」にあります「新しいパソコンを高知高専・学内LANに接続する場合の設定情報」に従ってください。また、すでに接続しているパソコンの設定の確認のためにも、ご利用ください。

4. Windows Update(Microsoft Update)の対応について

(以下 省略)

(出典 高知高専教職員インフォメーションボード内ページ)

「情報セキュリティポリシー」

独立行政法人国立高等専門学校機構情報セキュリティポリシー対策規則

独立行政法人国立高等専門学校機構規則第98号

制定 平成22年3月31日

第1章 総則

(趣旨)

第1条 独立行政法人国立高等専門学校機構情報セキュリティポリシー基本方針に基づく情報セキュリティの維持向上については、この規則の定めるところによる。

(定義)

第2条 この規則並びにこの規則に基づき情報セキュリティに関して制定される実施規則及び実施規程等における用語の定義は、それぞれの実施規則及び実施規程等において個別に定めるものを除き、別表に掲げるところによる。

(適用範囲)

第3条 この規則は、機構が扱う情報及び機構の情報システムを対象とする。

(以下 省略)

(出典 独立行政法人国立高等専門学校機構規則)

「ネチケット教育の資料」

<p>ネチケットとは</p> <ul style="list-style-type: none"> • (Inter)Net上のエチケット(etiquette)の事 • エチケットとは、「その時その場面において、そうすべき・だ(ではない)とされる社交上の決まり」(新明解国語辞典) • 他人に不快感を与えたり、誤解を避ける(Internet内ではこれが結構重要)ために、当然Internet内でもエチケット(ネチケット)は必要 • ネチネチしているからネチケットではない 	<p>ネチケットその1(メール編)</p> <p>近年急速に普及してきたインターネットメールは、電話の持つ情報伝達の即時性、気軽さと、手紙の持つ情報の持続性を併せ持つ、非常に便利なツールである。</p> <p>それゆえに、その落とし穴に気がつけなければならぬ。あなたが気軽に送ったメールは、下手すれば今後数十年間、相手のHDDの中に保存されている。</p>	<p>ネチケットその1(メール編)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 基本 • 常識の範囲内で簡潔に、丁寧な言葉遣いで用件を述べる。 • 相手に不快感を与えない文章にする。 • 相手に誤解を与えない文章にする。 • 相手のメールは極力善意に解釈する。 • 変な添付ファイルは貼り付けない。 • 迷惑メールは送らない(出会い系サイトなど)。
<p>ネチケットその1(メール編)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 基本 <ul style="list-style-type: none"> - 自分が誰で、誰宛に書いているのか明確にすること。 - E2クラスの皆様 電気工学科の和田浩司です - 自分(相手)のアドレスを間違えないように - ハイフン アンダーバー スペース など等 - 送信先が意図した相手なのかを確かめる(メールアドレスへの送信時のCc など) - 適宜実行する <ul style="list-style-type: none"> • E2クラスの皆様 電気工学科助手の和田浩司です。このように実行が正しく使われていない、機密な文章は誤りにくいとは思いませんか? 	<p>ネチケットその1(メール編)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 常識の範囲内で簡潔に、丁寧な言葉遣いで用件を述べる。 <ul style="list-style-type: none"> - TPOに大きく依存するので注意。 - 人によっては丁寧な言葉遣いを好む。 - 人によっては簡潔な文章を好む。 - 相手の文体に合わせるとういでしょう。 - 親しい関係であれば、ニュアンスを伝えるために、顔文字を用いるのもひとつの手段でしょう(^_^)V。 	<p>ネチケットその1(メール編)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 相手に不快感を与えない文章にする。 • 相手に誤解を与えない文章にする。 <ul style="list-style-type: none"> - そんな事もわからないのですか。 - この前ちゃんと言ったじゃないですか。 - きちんと対応して下さい。 <p>このような文章は、こちらが相手を馬鹿にしていると思われる可能性がある。</p>

(以下 省略)

(出典 情報処理センター運営委員会資料)

以上のハードウェア環境に加え、平成 22 年からはマイクロソフトと国立高等専門学校機構の間で包括ライセンス・教育支援契約を締結した。この契約により、当高専においても教職員のパソコンのみではなく、学生が所有しているパソコンについても、一人一台限りは在学中、及び卒業後一定の期間についてマイクロソフト・オフィス等を学生の負担なしで仕様することが可能になった。プレゼンテーションソフト等を個人のパソコンで使用することで、授業での成果を自主学習することができる。

(分析結果とその根拠理由)

十分なICT環境の下で情報ネットワークが整備され、有効に活用されている。

学内ネットワークは情報処理センターを中心にした高速LANで構成され、かつ、高速回線で外部接続されており、優れたネットワーク環境を有している。また、学内ほとんどの施設に無線LANのアクセスポイントも設置しており、有効に利用されている。さらに全学生に携帯情報端末を貸与することで、ネットワーク網を教育支援に役立ており、学生の個人所有機材の優劣に関係なく情報にアクセスできる優れたICT環境を学生に提供できている。

さらに情報セキュリティポリシーの下で運営され、多重のセキュリティ対策を実施するとともに、学生に対してのネチケット教育など、セキュリティやネットマナーに対しても万全の対策を行っている。

観点 8-2-①： 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。

(観点に係る状況)

本校図書館には、自然科学や工学をはじめ、人文、歴史など 10 分野の図書や学術雑誌を収集し管理している(資料 8-2-①-1)。開架閲覧室は、閲覧定員が 112 席で、平日の午前 8 時 30 分から午後 7 時までと土曜日の午前 9 時から午後 1 時まで開館している(資料 8-2-①-1, 2)。図書館ホームページは、インターネット経由で蔵書検索や文献等の検索も出来るよう整備している(資料 8-2-①-3)。蔵書情報の検索用等に計 7 台のパソコンと視聴覚機材用にテレビビデオ/プレーヤー 1 セットを設置し、学生に開放している(資料 8-1-①-13)。

平成 23 年度末の蔵書数は、96,190 冊(内、洋書は約 9%)、雑誌約 500 種、視聴覚教材約 396 件であり、毎年図書を追加し充実させている(資料 8-2-①-5, 6)。図書等の整備は、学生の意見箱や直接あるいは図書委員を通じての要望、話題性やトピック性、系統性等を配慮して図書館教職員の判断や各学科の教員の意見をもとに行っている。平成 22 年度の入館者数は 28,394 人で、貸し出し冊数は 3,477 冊であった(資料 8-2-①-6)。

図書館の運営や利用に関しては、図書館規程が定められており、図書館長が図書館を統轄している。また、学生図書委員会を組織化し、図書の整理・整頓などの活動の他、各委員はクラスからの要望を汲み上げるパイプ役を担っている(資料 8-2-①-7)。この委員会の活動を基に「図書館だより」を発行している(資料 8-2-①-8)。また、図書館主催のイベントとして、一般学生と一緒に書店で購入図書を選ぶブックハンティング、文芸コンクールなどを企画し、図書の利用促進の取り組みを行っている(資料 8-2-①-9)。さらに、一般市民等学外者の利用や文献複写サービスなども実施している。

(分析結果とその根拠理由)

学生及び教員のニーズに応じて必要な資料が系統的に整備され、活用されている。約 10 万冊の蔵書があり、各分野の図書や学術雑誌も充実しており、さらに学生の要望や教員の意見などを配慮して図書を整備している。また、インターネットを利用した蔵書検索や文献検索サービス、学生図書委員会の活動や広報の作成、図書館イベントなどで図書の利用促進を図っている。

「図書館概要」


図書館

図書館では、本校内外の学術情報資源を最大限に利用するための機能を備え、本校の教育・研究活動の支援に取り組んでいます。市民の皆様をはじめ学外の皆様方もご利用いただけます。

● <http://lib.kochi-ct.ac.jp/>

館内のご案内

■ 開館時間

平 日/8:30～19:00
土曜日/9:00～13:00
休館日/日曜日・祝日
・年未年始等

■ 開架閲覧室

図書 6万7千冊・雑誌等の資料
DVD視聴コーナー・閲覧席
112席

■ お問い合わせ

TEL.088-864-5607
FAX.088-864-5609

■ 館内

無線LANシステムを整備

■ ロビー

4台のパソコンを設置、
インターネットでの各種データベース検索システム等の情報検索が可能



※<http://lib.kochi-ct.ac.jp/>から、本校の蔵書検索が行えます。

● 図書館

蔵書数

図書

(平成23年5月1日現在)

区分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	計
和書	3,785	3,546	6,128	7,138	19,164	27,111	787	3,678	4,928	14,536	90,801
洋書	250	607	393	375	1,660	3,731	15	71	1,110	883	9,095

雑誌及び視聴覚資料

和雑誌	173種	DVD等	108本
洋雑誌	35種	CD-ROM	56枚

利用状況の推移

入館者数

年度	H18	H19	H20	H21	H22
入館者数	27,878	23,114	22,766	25,625	28,394

貸出冊数

年度	H18	H19	H20	H21	H22
貸出冊数	6,095	5,252	5,415	4,935	3,477

(出典 高知高専要覧 2011 P.10, 27)

「図書館利用案内」

図書館利用案内

● 開館時間

	通常	休業期間中
平日	8:30-19:00	8:30-17:00
土曜日	9:00-13:00	休館

● 休館日

日曜日、国民の祝日及び年末年始 (12/29-1/3)
 休業期間中の土曜日 (3/20-4/7、7/21-8/31、12/25-1/7)

● 貸出冊数・期間

区分	時期等	貸出冊数	貸出期間
教職員	通常	10冊以内	30日以内
本科生	通常	3冊以内	14日以内
	休業期間中	4冊以内	休業期間中
専攻科生	通常	5冊以内	14日以内
	休業期間中	5冊以内	休業期間中
一般の利用者	通常	3冊以内	7日以内

[学外の方の利用については[こちら](#)をご覧ください]

● 貸出・返却

貸出・・・本と学生証（一般の方は、利用許可証）を添えて、カウンターに出して下さい。
 返却・・・カウンターに本を返却するだけで結構です。なお、閉館中は図書館玄関横にある返却ボックス
 *続けて読みたい場合は、借り直す必要があります。

● 館内での利用の仕方について

- ・ 図書館にある資料は、パソコンを使って検索すると配架場所等を知ることができます。
- ・ 館内にある図書等は自由に読むことができますが、読み終わったら元の場所に返して下さい。

● 注意事項

- ・ 他の利用者の迷惑になるような行動はしないで下さい。（大声でしゃべる等）
- ・ 飲食及び飲食物の持ち込みも禁止です。
- ・ 貴重品以外のカバン類は閲覧室に持ち込みは禁止ですので、ロビーの荷物置きに入れて下さい。
- ・ 閲覧室内での携帯電話の使用は禁止です。

(出典 高知高専ウェブサイト 図書館ホームページ)

資料 8 - 2 - ① - 3

「蔵書検索システム」

(出典 高知高専ウェブサイト 図書館ホームページ)

資料 8 - 2 - ① - 4

「蔵書数の変化」

蔵書数の変化

	2021年度末			2022年度末			2023年度末
	21年度末	22年度末	23年度末	21年度末	22年度末	23年度末	
	3,727	3,785	3,599	250	250	256	3,855
	3,486	3,546	3,547	607	607	601	4,148
	6,060	6,128	5,950	393	393	380	6,330
	6,965	7,138	6,853	375	375	375	7,228
	18,948	19,164	18,151	1,660	1,660	1,611	19,762
工	26,825	27,111	24,931	3,713	3,713	3,642	28,573
	780	787	780	15	15	16	796
	3,583	3,678	3,528	71	71	68	3,596
	4,828	4,928	4,899	1,110	1,110	1,590	6,489
	14,190	14,536	14,535	883	883	878	15,413
	89,392	90,801	86,773	9,095	9,095	9,417	96,190

注：平成23年度で蔵書数は減少しているのは、古い蔵書の処分を行ったためである。

(出典 総務課図書・情報係資料)

資料 8-2-①-5

「視聴覚教材の整備状況」

の整備状況

		用
		の

--	--	--

(出典 総務課図書・情報係資料)

資料 8-2-①-6

「図書館利用状況」

1 図書館の利用状況

		2 27,878

(出典 総務課図書・情報係資料)

「学生図書委員会の活動」

平成 23 年度 第 1 回 学生図書委員会

平成 23 年 4 月 25 日(月) 16:20～17:00

○場 所 教室棟 1 階物理実験室

○出席者

1.館長挨拶

高野館長より、学生の意見をとり入れたいので、意見を出して欲しい、また図書館の仕事も手伝っていただきたい旨の挨拶があった。

2.自己紹介

職員、学生図書委員の自己紹介をした。

3.代表学生の選出

委員長

副委員長

に決定した。

4.日常的な活動・取組みについて

22年度：本棚の整理をした。本年度も、同様に学年で曜日を決めて取り組む。

基本的に月 4 年・火 3 年・水 5 年・木 1 年・金 2 年生とする。

この曜日に都合が悪い場合は適宜都合のつく曜日に変更する。

5.「図書館だより」の配布について

22年度：配布は学内放送で委員に呼びかけていた。

本年度は学内放送と合わせて、学生図書委員メーリングリストの作成により、gメールによる一斉連絡も併せて利用する。

1回目配布分は委員の集合写真と氏名を掲載するので、学生の了解を得た後、図書館閲覧室に移動し、集合写真を撮影した。

6.図書館主催の企画・イベントについて

22年度：ブックハンティング、高専祭クイズ大会を行った。

ブックハンティングは、本年度も昨年どおり、9月30日(金)に実施予定、実施場所は昨年度末学生図書委員会の意見を参考に金高堂朝倉ブックセンターとすることで調整する。

高専祭クイズ大会は昨年度同様実施する。併せて古本市を開催する。

7.その他(要望等)

特になし

(出典 平成 23 年度図書委員会議事録)

「図書館だより」

図書館だより

NO. 1 2011 (May) 高知高専図書館



貸出冊数・期間

区分	時期等	貸出冊数	貸出期間
本科生	通常	3冊以内	14日以内
	休業期間中	4冊以内	休業期間中
専攻科生	通常	5冊以内	14日以内
	休業期間中	5冊以内	休業期間中

開館時間	通常	休業期間中
平日	8:30-19:00	8:30-17:00
土曜日	9:00-13:00	休館



H23年度図書館スタッフ

平成23年度学級図書委員メンバー	
図書委員	副図書委員
1年	
2年	
3年	
4年	
5年	

お知らせ: 図書館のパソコン (学生用)
4台が新しくなっています。

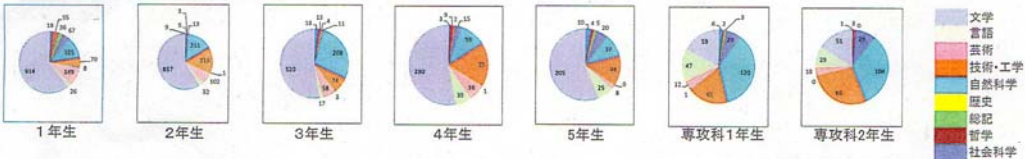


みなさんからの購入希望図書を受け付けています。図書館カウンターの横にリクエスト用紙を置いてあります。多少の審査の後、出来るだけ早く購入していきます。

学生貸出回数上位ベスト10 (平成22年4月~平成23年3月)

順位	授業関係	就職・進学関係	小説等その他 (除く: ライトノベル)
1	有機化学のためのスペクトル解析法	機元の物理をはじめからいぬいに	阪急電車
2	人名反応に学ぶ有機合成戦略	大学編入学試験数学問題集 (久留米高専)	フリーター、家を買う
3	化学小事典	受験英語からの TOEFL TEST 単語リスニング	ラブコメ今昔
4	フリス盤のダンドリ	内定者にはうざい! エントリーシート 履歴書 面接練習 面接対策	キケン
5	溶接技術入門/小林一清著	英検Pass準熟語: 2級	図書館戦争
6	学生のための電気回路	史上最強6P5テストセンター 超実践問題集	クジラの彼
7	無機化学 上巻 新版	科達と高専工学系大学編入学試験問題集: 数学・物理・化学	海の底
8	分析化学実験	最新最強の就職面接	世界を君に
9	受験化学講座 9	新TOEICテストはじめてでも600点がとれる!	図書館革命
10	溶接・接合便覧	就職試験絶対必修! SPIテストセンター	

平成22年度 分野別貸出冊数



受入本紹介 (H23・1~)

てにをは辞典	理系のための口頭発表術	英検準2級過去6回全問題集2011年度版
脳はなぜ「心」を作ったのか	オープンソースで学ぶバイオインフォマティクス	英検2級過去6回全問題集2011年度版
きことわ	やさしい数学 微分と積分まで	電気通信主任技術者法規試験対策
苦役列車	はじめてのラテン語	電気通信工事担任者AI・DD総合試験対策
月と蟹	Rによるバイオインフォマティクスデータ解析	電気通信主任技術者線路設備及び設備管理
運砂のうた	基本情報技術者論文発表や発表の準備と実践	電気通信主任技術者 伝送 交換テキスト
小暮狂物語	スッキリわかる線形代数演習	実験データを正しく扱うために
口語訳撰興詩人	スッキリわかる微分方程式とベクトル解析	やさしい言葉からわかるカンパニー資料学実践法 I タンパリ買きつくる
外資系企業がほしがかる脳ミソ	数学とは何だろう	化学系学生のためのExcel/VBA入門
理系のための人生設計ガイド	英文標準問題精講	知的な科学・技術文章の書き方
世界を救う7人の日本人	小悪魔女子大生のサーパーエンジニア日誌	科学者・技術者のための英語プレゼンテーション
話し言葉の基礎知識 話った相手関係も意識せよ!	投資ミサイル	水の世界地図 第2版
月の街山の街	合格講座2009 二級 第二級 第二級上 第二級下 第二級上 第二級下 第二級上 第二級下	水ビジネス 110兆円水市場の攻防
博士還流時代	第一級上 第一級下 第一級上 第一級下 第一級上 第一級下	世界一の電気はこうしてつくられる!
デフレの正体	第一級上 第一級下 第一級上 第一級下 第一級上 第一級下	エンジニアのための実践データ解析
自然エネルギーの可能性と限界	第一級上 第一級下 第一級上 第一級下 第一級上 第一級下	シスコ技術者認定公式ガイドCCDA DESIGN権
セイゴ先生の人間文化講義	ひと目でわかる危険物乙4種試験実践問題集	ポケットスタディ高度試験共通 午前 I・II 対応
アングク 英語で出合い、日本語を味わう名作50	一人でもできる特許出願・手続補正書・意見書の書き方	ポケットスタディ情報セキュリティスペシャリスト
人類が知っていることすべての短い歴史	成功事例が教える一人でもできる特許の取り方・活かし方 第2版	高度午前共通知識完全攻略テキスト2011年度版
シンジケート	新・拒絶理由通知との対話	基本情報技術者午後問題の重点対策2011
ドライドライアイス	<反> 知的独占	2010年公表問題集 二種電工技能試験 DVD付き
ロードバイクの科学	合格への100問 総合管理技術試験2級完全対策 改訂版	工事担任者AI・DD総合試験問題集2009春
モルフェウスの領域	平成23年度春秋期応用情報技術者合格教本	地盤工学 第2版
偽徳	読者の科学	構造力学 I
放課後はミステリーとともに	しらないと恥をかき世界の大問題	構造力学 II
麒麟の窟	英検準1級総合対策教本	土質試験 基本と手引き 第二回改訂版
県庁おもてなし課	英検準2級総合対策教本	土木練習簿 コンクリート工学
ガリア戦記	英検2級総合対策教本	立体化学入門 三次元の有機化学
	英検準1級過去6回全問題集2011年度版	マクマリー生物有機化学



図書館からお知らせ

- *貸出の際には**学生証**を必ず持ってきて下さい。カードがないと貸出は出来ません。
- *図書館へは**飲食及び飲食物の持ち込みも禁止**です。
- *閲覧室内での**携帯電話の使用は禁止**です。

* **9月30日(金)** 午後**ブックハンティング**を予定しています。夏休み明けに参加者募集予定です。



(出典 図書館だより Vol.1 (2011))

「文芸コンクール」

平成23年度 高知高専文芸コンクール

本科生・専攻科生対象

下記部門ごとに 1 作品まで応募可

- ① コラム部門
テーマは自由 テーマを決めて自分の考えや意見を表現
600 字程度
- ② 読書感想文部門 対象作品 ; 特別指定なし
1500 字以上

提出期限: 9月30日(金) 提出先: 図書館

最優秀賞, 優秀賞, 佳作の作品には
賞状と記念品 (図書カード) を贈呈!!

最優秀	1名	3000円分の図書カード
優秀	2名	1500円分の図書カード
佳作	6名	500円分の図書カード

各賞は該当無しの場合もあります。

主催: 高知高専図書館 (図書・情報係 088-864-5608 tosho@jm.kochi-ct.ac.jp)

(出典 平成 23 年度 総務課図書・情報係資料)

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

教室は十分な広さを確保し、さらにほとんどの教室にはプロジェクターを完備しており、授業などに活用されている。また、情報学習のための施設も充実しているほか、無線LANにより、教室・実験室・学生寮を含め全ての施設内でネットワークが利用可能であり、学生・教職員ともに有効に活用している。ネットワークの利用は、パソコンに加え、全学生に貸与されている携帯情報端末を通じてどこでも可能であり、学生の情報収集やe-learning環境を大幅に改善しており、十分なセキュリティ管理下で優れたICT環境を実現している。

(改善を要する点)

図書館、実習工場など、古い建物の内外装の改修、及び、一部の建物のエレベータ設置等の更なるバリアフリー化が必要と思われる。

(3) 基準 8 の自己評価の概要

本校の教育課程に対応して、各種教室、実習工場（機械工場）などの実習施設、運動施設、図書館、情報処理センター、学生寮、福利厚生施設等が整備され、有効に活用されている。また、教育や実験実習に必要な設備や装置も適切に配備し、それぞれ有効に活用されている。学生寮を含む学内の多くの建物でバリアフリー化が考慮されている。また、太陽光発電設備による発電や環境マネジメント委員会の活動で、環境に配慮した施設運営が行われている。

情報処理センターを中心に高速の校内LANが整備されるとともに、全ての施設内に無線LANのアクセスポイントを設置し、校内のほとんどの場所でネットワークの利用が可能であり、幅広く活用されている。また、全ての学生に携帯情報端末が貸与されており、十分なICT環境を学生に提供できている。情報処理教育用の施設として、情報処理センター演習室と2室のパソコン室が整備されており、本科・専攻科の情報関連の授業をはじめ、講習会や研修、学生の自主学習、課外活動などに幅広く利用されている。さらに、情報セキュリティポリシーの下で運営されており、情報の漏洩や不正アクセスなどの対策や学生へのネチケット教育も実施している。

図書館は、学生及び教職員のニーズに応じた図書や資料を系統的に整備しており、教育研究に必要な図書、学術雑誌、視聴覚資料等が充実した状態で整備され、有効に活用されている。また、学生図書委員会の活動や図書館イベントなどで利用促進を図っている。